

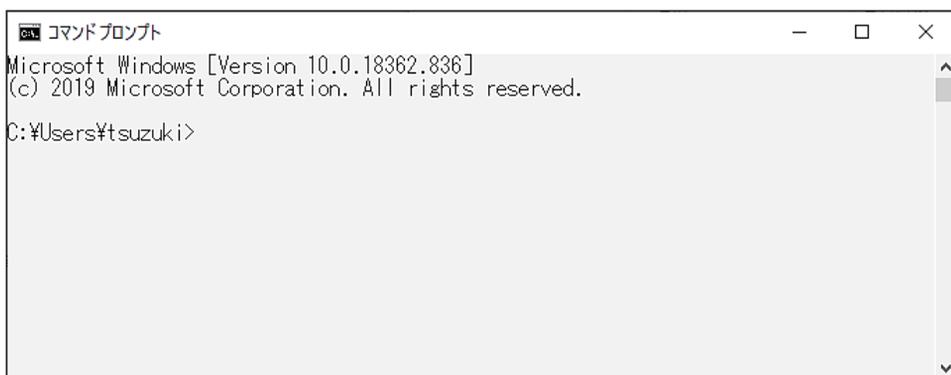
Vivadoシミュレータの動作確認

- ・ Vivadoをインストールした後、正しくインストール出来たかを確認するための手順です。
- ・ 通常Vivadoは IDE(GUIの環境)から使用しますが、ここではシミュレータに特化した確認を行います。
- ・ VivadoシミュレータはLinux環境でも動かしますが、Windows環境での説明に限定します。

Vivadoシミュレータをコマンドライン(キーボードからの入力)で使うためには、Windowsのコマンドプロンプトを起動し、そこで操作します。

スタートメニューから以下を選び、コマンドプロンプトを起動します。

[スタート] > [Windowsシステムツール] > [コマンドプロンプト]



開かれたコマンドプロンプト (通常、ウインドウの背景色は黒色です)

開かれたコマンドプロンプトのウインドウで、次の命令をタイプして環境設定を行います。

```
C:¥Xilinx¥Vivado¥2019.1¥settings64.bat
```

注) VivadoをCドライブにインストールしたとき(標準)の例です。別のドライブにインストールした場合は、先頭のドライブレターをインストール先に合わせて変更してください。
“2019.1” はバージョン番号なので、インストールしたVivadoにより異なります。
Windowsのため、大文字小文字の区別はありません。

上記の命令(settings64.batファイル)が存在しない場合、インストールは不完全です。
インストールをやり直してください。

次に以下のコマンドをタイプします。

```
xvlog --version
```

“Vivado Simulator 2019.1” と表示されれば、Vivadoシミュレータは正しくインストールされています。(“2019.1” はバージョン番号)

これで確認作業は終了です。
exitをタイプしてコマンドプロンプトを閉じてください。